

令和8年度企画展

南極を夢見た男

～白瀬中尉没後80周年展～

令和8年7月22日(水)～9月13日(日)



(右上)写真提供:白瀬南極探検隊記念館

(左下)出典:国立国会図書館「本の万華鏡」(<https://www.ndl.go.jp/kaleido/>)

新座市立歴史民俗資料館 れきしてらす

〒352-0011 新座市野火止二丁目9番37号
(新座中学校の前、新座消防署の隣)

場 所:新座市立歴史民俗資料館 展示室・研修室

時 間:午前9時～午後5時(最終入場 午後4時30分)

休館日:毎週月曜日、祝日、7/31(金)、8/28(金)、9/12(土)

電 話:048-481-0177

ギャラリートーク

▷▶当館学芸員による展示解説

日付:令和8年9月5日(土)

時間:午前10時～

※当日受付

関連講座

「映画『日本南極探検』に見る
白瀬隊の偉業—その光と影」

日付:令和8年9月5日(土)

時間:午後2時～4時

電子申請:8月10日(月)まで

申込みはこちら→



※一部展示閉鎖期間があります。詳細はホームページをご確認ください。

令和8年度企画展

南極を夢見た男

～白瀬中尉没後80周年展～

日本初の南極探検家・^{しらせのぶ}白瀬中尉

白瀬中尉（1861～1946）は、明治時代中期に活躍した陸軍軍人です。明治45年（1912）に日本で初めて南極大陸に上陸・探検を行った人物として有名で、南極観測の礎を築きました。

令和8年は白瀬中尉の没後80年、そして南極観測70周年の節目の年に当たります。歴史民俗資料館では、「白瀬中尉の没後80周年展」と題して、改めて中尉の偉業を紹介するとともに、初公開となる資料の展示を行います。



写真提供：白瀬南極探検隊記念館



新座市と白瀬中尉

白瀬中尉は南極から帰国後、郷里に帰ることなく各地を転々とし、最晩年の昭和17年（1942）頃から数年間、片山村新塚原（現・栄四丁目付近）に居住していました。中尉は新座を離れる際、交流のあった大和田町菅沢（現・菅沢一丁目）の農家の方に、お世話になったお礼として南極探検の模様を記録したアルバム等を贈りました。

数々の写真や諸資料から、白瀬中尉と新座市との不思議な縁を、一人でも多くの方に知っていただければ幸いです。

関連講座「映画『日本南極探検』に見る白瀬隊の偉業—その光と影—」

講師：国立映画アーカイブ主任研究員・大傍正規氏
日時：令和8年9月5日（土）午後2時から4時まで
定員：50名（電子申請での申込。抽選）



れきしてらす HP

日本に映画が到来して間もない明治時代に、南極まで撮影機材を運び、極寒の環境で撮影されたのが映画『日本南極探検』です。100年以上前の映画を見ながら、そこで記録された情報と撮影の舞台裏を解説します。

